

入野小学校 校長室だより

2014.5.8(木) No.5 文責：芝

素晴らしい天と地と人と…

5月2日は絶好の天気の中で遠足。

「今日の遠足は暑いぞ…」

と、職員室では異口同音に聞こえていた言葉の通り、刺すような日差しの中での一日でした。ですが、入野の浜の空と海と砂、風になびくTシャツアート展のTシャツ、その準備を急ぐスタッフの姿、観光客の笑顔…、最高のロケーションでの遠足でした。

「こんな素晴らしい場所へ、歩いて遠足に来れる皆さんは幸せです。」

浜に到着して集合し、私の役割『校長の話』で思わず出た言葉です。続けて言ってしまった「遠くから何万円も使って来る人も…」は「金に絡めてしもうた」と後悔したことでしたが、確かに「遠く県外からも入野の浜を目指して来る人たちが数多くいる」、そんな町で暮らしているのは、県外から来た人から見れば幸せなことだと思うことでしょう。

さて、入野小学校の遠足ですが、児童会が「なかよし班（異年齢で構成する班）」中心に活動するイベントを用意していました。その子どもたちの姿の一部をご紹介します。

下の写真は「班全員が手をつなぎ、20mを走るタイムを競う」もの。この写真でお気づ



きでしょうか、「おんぶもあり」です。これが、とても温かな雰囲気を作っていました。

二人三脚のリレーでもいいシーンが見られました。「早く！早く！」の声と気持ちに押されても、スピードが出る時もあり苦戦の時もありです。苦戦しても転んでも上級生が下級生をていねいに・やさしくリードする様子が最高にカッコいいと思ったことでした。

下級生は上級生のこんな「カッコいい！」と感じた姿を覚えていてほしいと思います。そして、そんな上級生になってください。それが何年も続いて『入野小学校の伝統・自慢』と胸を張れるように…、と願っています。

最後にもう一つ、遠足の話から。

お弁当後のイベントに「砂像作り」がありました。「なかよし班」で相談し協力して砂像を作るのです。制限時間は20分間。その後で私も含めた審査員3名が「A賞B賞C賞」を選びました。さて、A賞をとった班のテーマは何だと思いますか？A賞をとった砂像は「Tシャツアート展」。何て素晴らしい発想の力・気付きの力…。審査員3名とも、大・大納得の作品でした。（下の写真参照）



審査発表の後、ある班の女の子が私のところに来て言いました。

「(審査の) 基準は何なが？」

賞には選ばれなかったけど、砂像には自信があった様子です。ごめんね。来年は制作前に観点をいくつか言いますからね。

